

公明新聞に掲載されました！
リトルベビーハンドブック



区の担当者から配布状況を聞く小林区議

低体重児の子育て応援 リトルベビーハンドブック配布

▽東京・中野区
東京都中野区は現在、2500名未満の低体重で生まれた赤ちゃんの成長などを記録できる「なかのりトルベビーハンドブック」を配布している。

低体重で生まれた赤ちゃんを育てる親の心情に寄り添うため、同じ境遇を体験した先輩からのメッセージや、育児相談や産後ケアなど区内で利用できるサービスも記載。区内に4カ所ある「すこやか福祉センター」の職員から、家族との面談を経て配布し、区ホームページでも見ることができ、区の担当者は「子育てに役立つ一つのツールとして活用してほしい」と語る。

公明党の小林善一区議は、2022年6月定例会で、親へのケアが足りていないという区内の医療従事者の指摘を紹介し、リトルベビーハンドブックの導入を提案していた。

2024.07.02掲載

Home Page
Facebook
Twitter

HOMEPAGE
ホームページ

小林ぜんいちオフィシャルWEBサイト
ホームページ
<http://kobayashizenichi.com/>

Facebook
「小林ぜんいち」で検索

Twitter
「小林ぜんいち」又は「@koba_zen」で検索



7月から アピアランスケア費用助成受付が始まりました。

がん治療に伴う外見の変化により地域生活に支障がある方へ、アピアランスケア用品（医療用ウィッグや胸部補整具等）の購入またはレンタルに要した費用を助成します。



8月から 高齢者の方へ、補聴器購入費用の助成が始まりました。

加齢により耳が遠くなり、日常生活に不便を感じている高齢者を対象に補聴器の購入費を一部助成します。



10月から 「未就学児全員のベビーシッター利用が可能に」になります。

対象を未就園児から、保育園等の在園児まで拡げ、ベビーシッター派遣による一時預かりサービスの利用料の一部が区から補助されます。

補助額：7:00→22:00 2,500円/時間(限度額)
22:00→7:00 3,500円/時間(限度額)



小林 ぜんいち

- 議会役職等
 - 公明党議員団 幹事長
 - 総務委員会 委員
 - 中野駅周辺整備・西武新宿線沿線まちづくり調査特別委員会 委員
 - 中野区都市計画審議会 委員
 - 消防団運営委員会 委員
- 所属団体等
 - (社)日本建築学会正会員
 - (社)東京建築士会正会員
 - 福祉住環境コーディネーター協会会員
 - マンションリフォームマネジャー
 - 日本防災士会会員
 - 早稲田大学稲門建築会会員
 - 中野稲門会会員
 - 中野区長野県人会副会長
 - 桃園地区上町町会会長
- 経歴
 - (株)宮本忠長建築設計事務所
 - (有)TAF 設計事務所
 - 住宅・教育・医療・福祉・文化・宿泊・耐震等設計監理、専門学校等 講師など



小林ぜんいち NEWS

Zenichi Kobayashi



ご挨拶

区民の将来負担増となる区政運営を改め、日々の区民生活に目を向けた区政運営へ転換を中野区役所新庁舎で業務が開始されてから3か月余りが経ち、毎日多くの利用者が来庁されています。

今号は、新庁舎移転に係る経費や移転後の経費について第2回定例会でおこなった質疑を中心に掲載します。

新庁舎では、經常経費となる設備維持経費や窓口委託経費は2億円余り増加しました。また、新庁舎では職員の業務時間の削減が図られるとしましたが、実際には判断できる仕組みすらありませんでした。

新庁舎窓口業務では、区民と職員の距離が遠くなった、待つ時間が長くなった、また、エレベーターでの待ち時間も長くなったのご指摘も頂いています。

私は、区民の日々の生活に係るサービス低下とならぬよう、子育てから高齢者まで多様な区民の中に入り寄り添う中で、日々の健康と暮らしを守る区政への転換となるよう尽力してまいります。

小林 ぜんいち



中野区役所新庁舎

— KOMEITO —
公明党
第43号
2024年8月発行
中野区公明党議員団

令和6年第2回定例会 一般質問



(2024.06.13一般質問)

一般質問 項目

1.新庁舎移転について

- (1)新庁舎での新たな窓口業務について
- (2)新庁舎での新たな取組について
- (3)新庁舎移転全体に係る総合的な検証・総括について

2.区有施設の整備について

- (1)区有施設整備計画の今後の方針について
- (2)中野区シルバー人材センター本部移転について

3.区政の課題について

- (1)義務教育基金の積み立てと区財政について
- (2)区有施設の建設工事前払金について
- (3)中野四丁目新北口駅前地区第一種市街地再開発事業の施行認可について
- (4)民間の視点を有したまちづくり専門人材の確保と人材育成について
- (5)病児・病後児保育の拡充について

4.熱中症対策と防災対策について

5.その他

- (1)中野中学校東側歩道状空地について
- (2)区内南北交通政策について
- (3)見守り支えあい推進活動について



中野区役所新庁舎 屋上庭園

小林ぜんいち 令和6年(2024年) 第2回定例会 一般質問から抜粋

新庁舎での新たな窓口業務について問う

小林

- ①多くの区民が利用する2階の窓口について、待ち時間の圧縮は図られたのか。また、来庁から窓口対応までの所要時間は、大幅に削減されたのでしょうか。
- ②「外国人窓口」は、4階ではなく、1階総合案内所近くで受け付けられるよう改善すべきではないか。
- ③耳に入れても清潔な窓口用「軟骨伝導イヤホン」を設置してはどうか。
- ④乳幼児と一緒に来庁される方の利便性を図るため、ベビーカーの貸出しを行ってはどうか。
- ⑤改めて新庁舎について、区民・利用者アンケートを取る等、改善点の調査を行ってはどうか、伺う。



区長

- ①窓口における機器の利用や、動線、機器の機能を活用したオペレーションの見直しにより、待ち時間の削減が図られている。なお、発券機の統計機能を活用した窓口対応の所要時間等の分析について、現在データを蓄積しているところであり、今後の改善に向け、検証を行いたい。
- ②新庁舎ではフロア毎に機能を持たせ配置を行っており、4階は区民相談窓口をはじめとした相談業務を集約して相互連携しやすい環境としたところである。
- ③現在導入している機器の利用状況も踏まえ、今後研究していく。
- ④利用者の要望等を踏まえ、今後検討していく。
- ⑤実施したいと考えている。

小林

削減時間は、判断できる仕組みを設けておらず、図られているかは分からない。しっかりと検証し、示すべきである。

新庁舎移転全体に係る検証・総括をせよ

小林

- ①新庁舎移転について、通常の行政評価とは別枠で検証することだが、具体的にどう進めるのでしょうか。
- ②旧庁舎と比較し、新庁舎での設備管理費や窓口案内委託経費のランニングコストはどのくらい掛かるのか。
- ③MS365導入による、人件費削減効果の検証をどう行うのか。
- ④新庁舎の肥大化した経常経費の圧縮や積み立ての考え方、経常経費を削減していくための事業等の見直しをどう行っていくのか。
- ⑤毎年、一定の減価償却費の積み立てが必要ではないか、伺う。

区長

- ①区民へのアンケート調査等、区の取り組みが評価できる手法を検討していく。
- ②設備管理費は約2.1倍増、委託経費は約3.1倍増となっている。
- ③定量的な評価については、今後どのように数値化できるか等、研究していく。
- ④効率的なエネルギー消費に努めるとともに、経常経費は、区民サービスの向上、業務効率化、窓口における一年間の繁忙のサイクルの視点から検証し、必要な改善を図っていく。
- ⑤将来の整備に備え、財政運営の考え方に則って、基金の積み立てを行っていく予定である。

小林

設備管理費は、旧庁舎で約1億4300万円、新庁舎では約3億800万円で、2.15倍。窓口委託経費は、旧庁舎で約5000万円、新庁舎では約1億5600万円で、3.1倍となっている。このほかに共通発券機やセルフレジを各階で導入し、経常経費の肥大化は明らかであり、圧縮すべきである。

区有施設の整備について問う

小林

手狭で老朽化したシルバー人材センター本部の移転及び改善は、早急に取り組む必要があるのではないかと、伺う。

区長

検討を進めていく。

区政課題



区政課題について問う

小林

- ①学校の建て替え等へ向け、基金への積立など原資をどのように考えているか。
- ②区財政の経費の削減をどう考えているか。
- ③区内事業者支援のためにも、建設工事前払金の上限額撤廃を含め、見直しの検討を行ってはどうか。
- ④中野駅周辺まちづくり等、大規模プロジェクトの区としてのチェック機能を強化するとともに、民間の再開発事業者と渡り合える人材の確保が必要ではないか。
- ⑤要望の多い病児・病後児保育の拡充を図ってはどうか、伺う。

区長

- ①国や都の補助金を確保するとともに、財政運営の考え方を踏まえた基金残高を確保した上で、基金の繰り入れや起債を活用して、持続可能な財政運営を進めていく。
- ②ビルド・アンド・スクラップによる事業展開を徹底し、限られた財源を有効に配分していく。
- ③上限額を現状の4億円から引き上げる方向で考えている。
- ④任期付職員や会計年度任用職員として外部から人材を獲得、あるいは業務委託を活用する等、最適な方策について検討していく。
- ⑥サービス拡充に向けた検討を進めていく。

熱中症と防災対策の見直しを

小林

- ①熱中症予防の啓発活動等行うとともに、熱中症対策イベントへの気象予報士の派遣を積極的に受けてはどうか。
- ②地域防災計画の作成、防災訓練や講習会、接近中の台風の影響、線状降水帯の状況等、気象予報士との連携をしてはどうか、伺う。

区長

- ①都の事業の活用も視野に入れて充実を図っていく。
- ②知見を活かしていくことも検討する。

区内南北交通の利便性を検討せよ

小林

バス交通の利便性向上のため、中野駅北口と南口の相互乗り入れを、まちづくりに合わせて考えてはどうか、伺う。

区長

中野駅周辺の交通環境に関する協議の場を設定するとともに、実現可能な対策の検討を進めていく。

見守り活動の検証と取り組みについて問う

小林

今後の見守り支えあい活動を活発に行うためにも、「コロナ禍後の事例集の作成」や、新たな町会間の連携を強めるための「情報交換会」等を設けてはどうか、伺う。

区長

様々な見守り活動事例の紹介や情報交換会の開催についても検討していく。



中野区役所新庁舎 屋上庭園からの眺望